



## 清新で活力あるまちづくり

松伏町長 会田 重雄

あけましておめでとうございます。平成21年は、松伏町にとって町制40周年を迎える年となります。町づくりの設計図である「松伏町第4次総合振興計画後期基本計画」がスタートする年でもあります。

この節目となる年を迎えるにあたり、「清新で活力あるまちづくり」をめざし、「洗心」の考えを念頭に置き、行政運営を進めてまいります。

「洗心」という言葉は、私の好きな言葉の一つであります。読んで字のごとく、「心を洗う」という意味です。このお正月に初詣に出かけられる方も多いことと思いますが、お参りする前に水で手を洗い、口を清めるのと同じように、自らの心も一緒に洗い清めることこそ大切だとする言葉でもあります。

昨年、松伏町では、担い手サポート事業をめぐる不祥事が発覚し、農家の方をはじめ町民の皆様にご迷惑をおかけしたことを、あらためてお詫び申し上げます。今後は、このようなことは二度と起こさぬよう「洗心」し、信頼される町役場をめざして全力で取り組んでまいります。

今年は、次の6項目を重点施策と位置付け、取り組んでまいります。長年の懸案であった学校施設の充実や企業誘致など現在進行中の事業もありますが、これら町政上の重要な課題を具体的な形として示していきたいと考えています。

- 将来の交通体系の骨格となる東埼玉道路・浦和野田線などの早期整備促進
- 高齢福祉施策の転換と児童福祉施策の充実
- 特産品づくりをとおした地域産業の育成
- 次代を担う子どもたちの安心・安全な教育施設の整備
- 健康づくり運動の発展を目指した「健康まつぶし21計画」の推進
- 第4次松伏町行政改革大綱による財政健全化の推進

今年が町民の皆さまにとりまして、幸多い充実した一年となりますことを心からお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。